

フロイント産業株式会社
STANDARD
TOKYO
(証券コード6312)

2024年2月期 決算説明資料

2024年4月12日

 **FREUND**



Copyright(C) Freund Corp. All rights reserved.

目次

- 2024年2月期 連結決算概況 . . . P.02
- 2025年2月期 連結業績・配当予想 . . . P.13
- トピックス . . . P.16

- <参考資料> . . . P.18

2024年2月期 連結決算概況



Copyright(C) Freund Corp. All rights reserved.



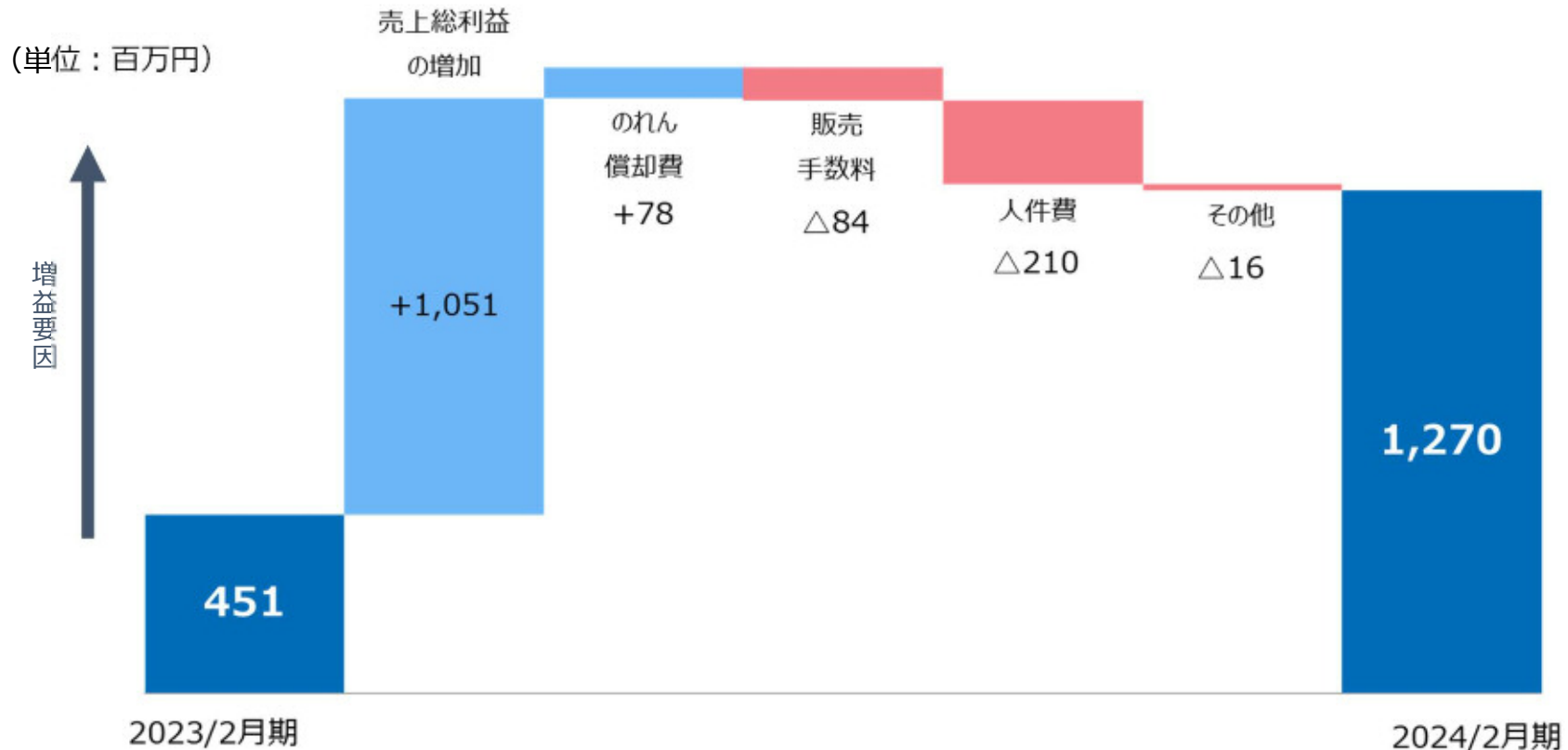
連結損益計算書サマリー

- 過去最高の売上高となり大幅な増収増益
- 受注も過去最高となり、期末受注残高も過去最高を記録
- 販管費は、新システム関連費用が翌期計上となったものの、賃上げ等で増加
- 当期純利益は新システムの一部除却損があったものの大幅な増益

(単位：百万円)	2023/2月期		2024/2月期		前年比増減	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	%
売上高	19,658	100.0	22,903	100.0	3,245	16.5%
売上総利益	5,993	30.5	7,043	30.8	1,050	17.5%
販管費	5,541	28.2	5,773	25.2	232	4.2%
営業利益	451	2.3	1,270	5.5	818	181.3%
経常利益	559	2.8	1,285	5.6	726	129.9%
税金等調整前当期純利益	△ 406	△ 2.1	1,101	4.8	1,507	—
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 538	△ 2.7	764	3.3	1,303	—
ROE	△3.8%	—	5.3%	—	—	—

連結営業利益増減分析

- 全部門（特に国内機械・米国子会社）で増収となり米国子会社の収益率も改善したため利益は大きく増加
- 販売管理費は人件費・販売手数料が増加となったが、のれん償却費が減少したことや増収に伴う利益増により営業利益は前年比大幅に増益



機械部門：グループ会社別動向（売上・営業利益）

フロイント産業	国内売上は一部部材の調達が難しくなっている中、協力会社とともに早期出荷に努め大幅増収
フロイント・ターボ	前年比増収、底堅く利益を計上
Freund-Vector	過去受注の不採算案件を解消し、黒字回復
Cos.Mec	前年比増収減益なるも、計画通りに着地

(単位：百万円) グループ会社別は連結調整前	2023/2月期	2024/2月期	前年比増減	
				%
売上高	13,448	16,157	2,708	20.1%
フロイント産業	5,634	6,904	1,270	22.5%
フロイント・ターボ	1,600	1,761	161	10.1%
Freund-Vector	5,348	6,169	820	15.3%
Cos.Mec	1,714	1,755	41	2.4%
営業利益	59	924	865	1,455.6%
フロイント産業	421	659	237	56.4%
フロイント・ターボ	50	81	30	61.5%
Freund-Vector	△410	86	497	—
Cos.Mec	95	80	△15	△16.1%

機械部門：グループ会社別動向（受注高・受注残高）

フロイント産業	受注高は、主にジェネリックメーカーの大型設備投資活発化を背景に前年以上の受注を確保し、期末受注残高は過去最高の110億円
フロイント・ターボ	大型案件が減少、受注残高は例年並み
Freund – Vector	受注高は過去最高。受注残高は前期と同様高水準
Cos.Mec	ユーロベースでは受注高、受注残高ともに減少

(単位：百万円) グループ会社別は連結調整前	2023/2月期	2024/2月期	前年比増減	
				%
受注高	14,630	18,600	3,969	27.1%
フロイント産業	8,157	9,960	1,803	22.1%
フロイント・ターボ	1,517	1,201	△315	△20.8%
Freund-Vector	3,645	6,065	2,420	66.4%
Cos.Mec	1,310	1,469	159	12.1%
受注残高	12,826	15,842	3,016	23.5%
フロイント産業	7,835	11,067	3,232	41.3%
フロイント・ターボ	839	607	△232	△27.7%
Freund-Vector	3,173	3,479	305	9.6%
Cos.Mec	977	841	△136	△13.9%

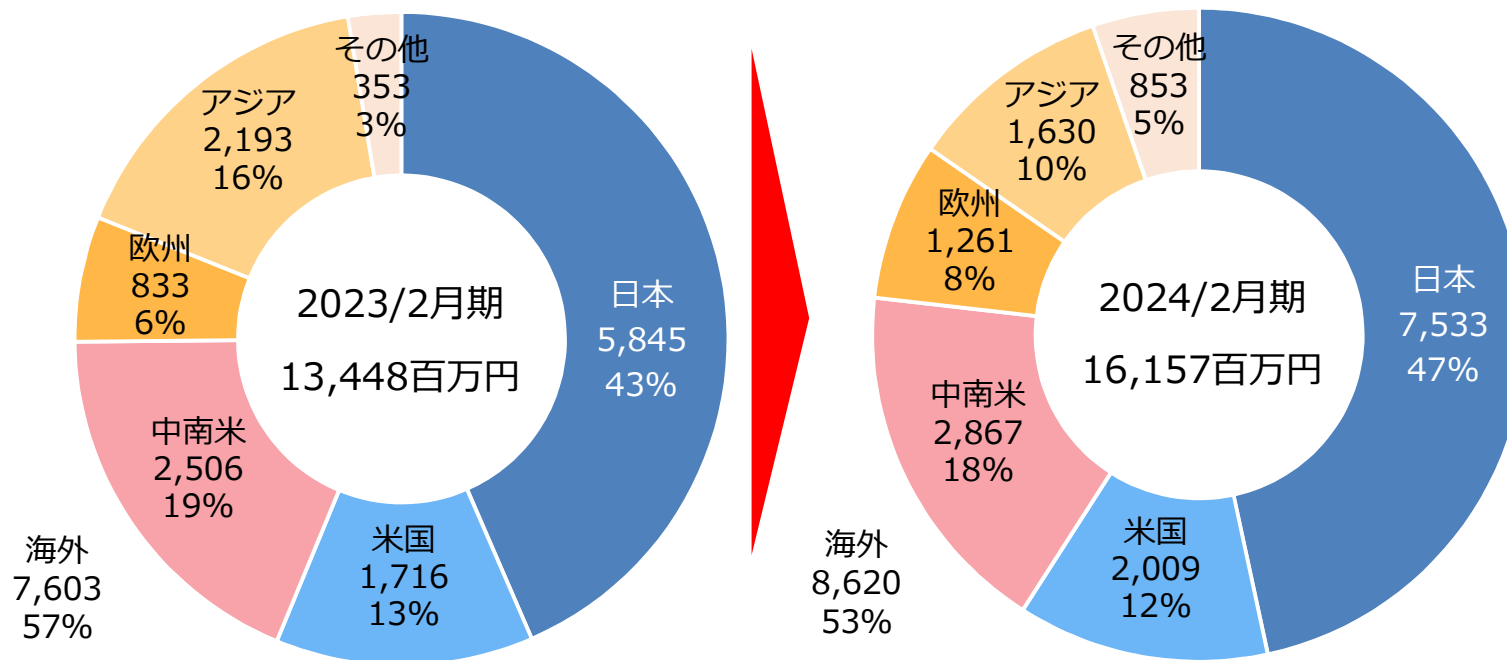
機械部門：地域別売上高

国内

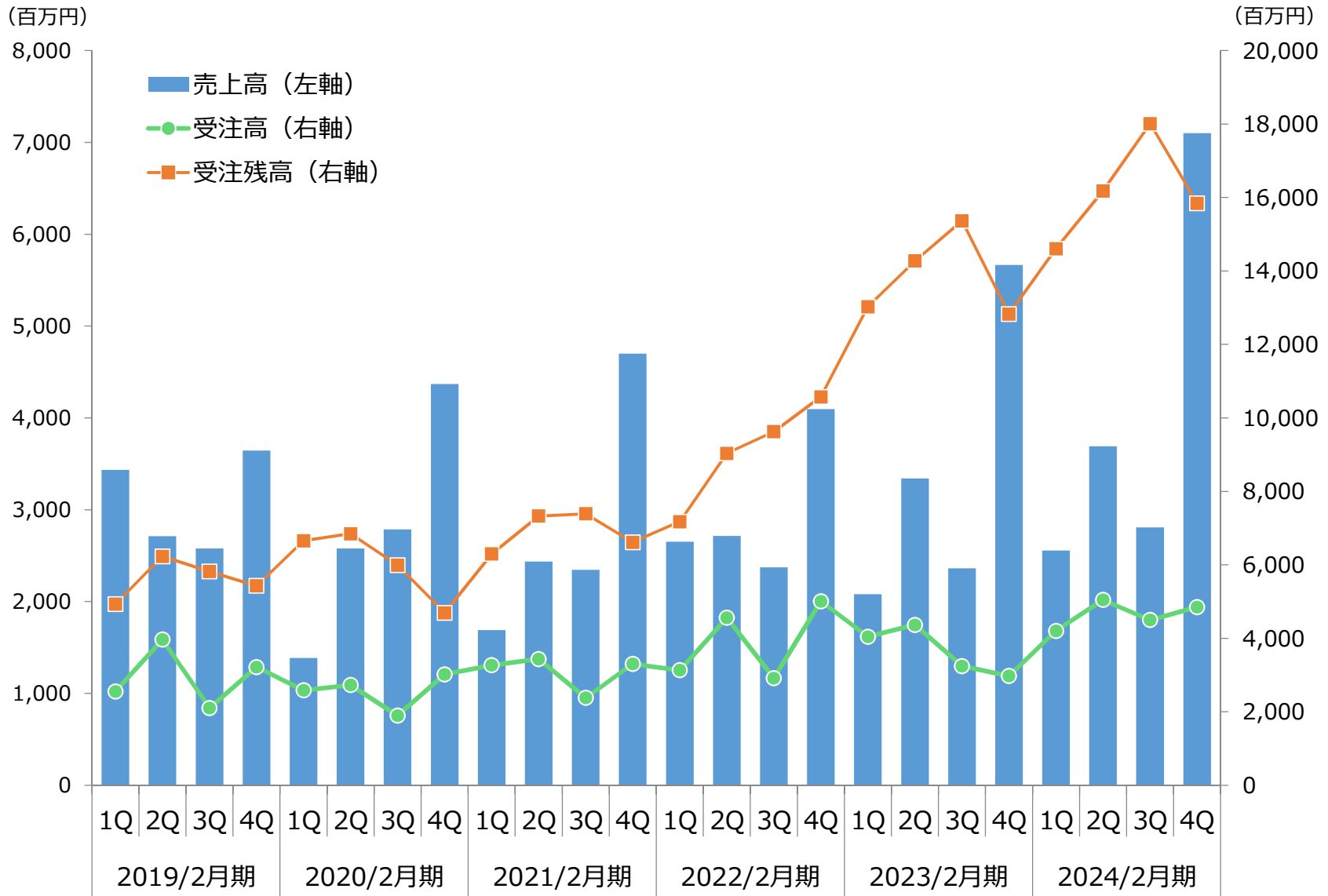
国内売上が大幅に伸びたため海外比率は減少

海外

米国、中南米が好調、円安も寄与
その他の増収分は新興国（中東・アフリカ等）



機械部門：四半期推移（売上高・受注高・受注残高）



化成品部門：概況

売上高

過去最高の売上を記録した前年度を上回り、堅調に推移

医薬品添加剤：主要製品が引き続き好調の結果、過去最高の売上を更新

食品品質保持剤：パン向け需要の伸びは鈍化したものの、過去最高の売上

営業利益

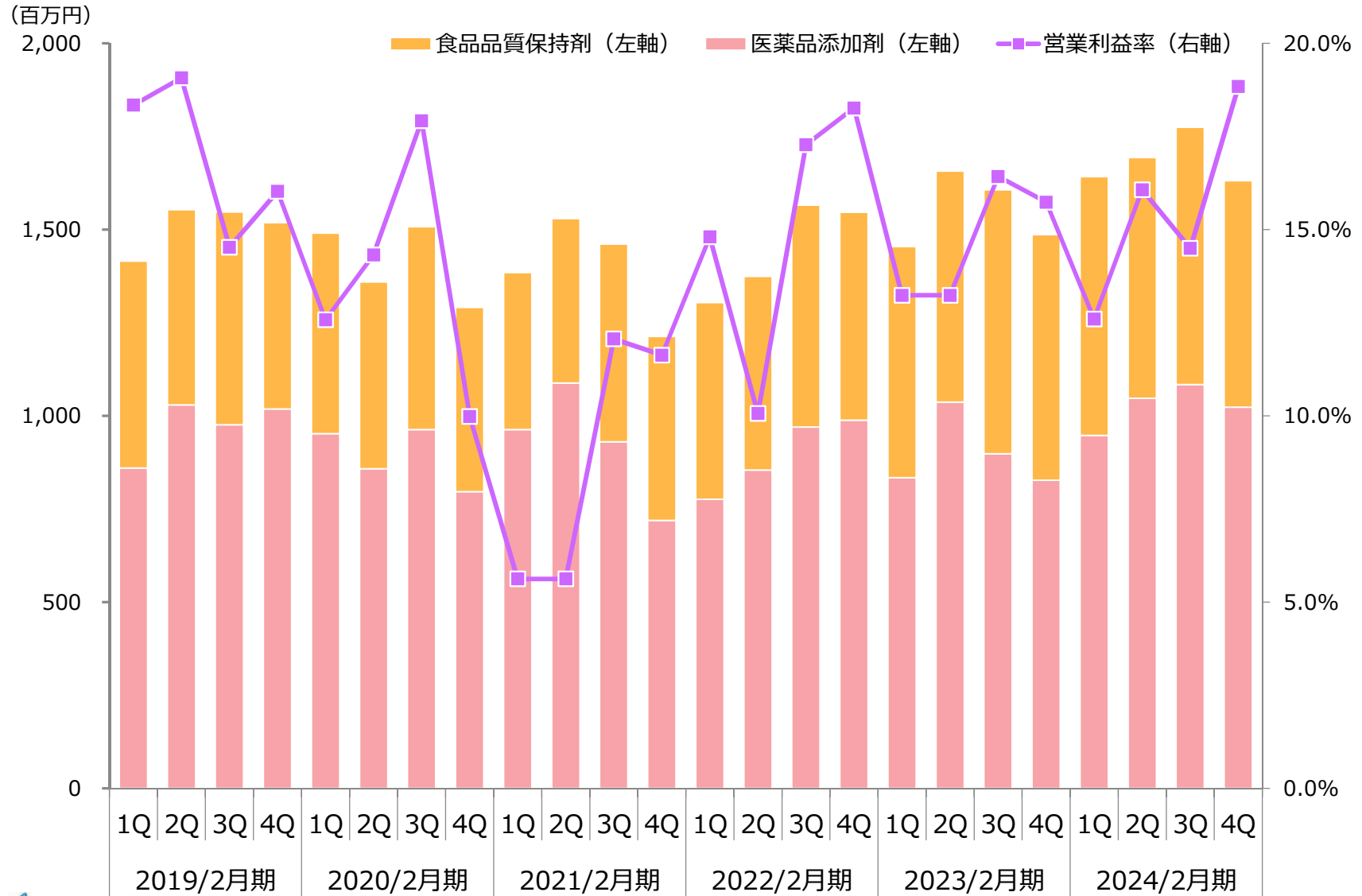
売上高増加に伴い営業利益は前年比増益

(単位：百万円)	2023/2月期	2024/2月期	前年比増減	
				%
売上高	6,209	6,745	536	8.6%
医薬品添加剤	3,600	4,105	505	14.0%
食品品質保持剤	2,609	2,640	31	1.2%
営業利益	976	1,044	67	7.0%

化成品部門：四半期推移（分野別業績）

【売上高】

【営業利益率】



連結貸借対照表サマリー

- 第4Qに大きく売上を計上したことで売上債権が大きく増加
- 受注残が多く仕入債務や契約負債が増加

資産の部				負債・資本の部			
(単位：百万円)	2023/2月期	2024/2月期	増減額	(単位：百万円)	2023/2月期	2024/2月期	増減額
流動資産	15,870	18,537	2,667	流動負債	7,815	9,920	2,105
現金及び預金	3,917	4,736	819	仕入債務	2,730	3,881	1,150
売上債権	5,535	7,058	1,522	短期借入金	896	515	△ 381
棚卸資産	5,586	5,815	229	契約負債	2,913	3,932	1,019
その他資産	831	926	95	その他負債	1,275	1,592	316
固定資産	6,888	7,252	363	固定負債	826	845	18
				純資産合計	14,117	15,023	906
資産合計	22,758	25,789	3,030	負債純資産合計	22,758	25,789	3,030

連結キャッシュフロー計算書サマリー

(単位：百万円)	2023/2月期	2024/2月期
営業キャッシュフロー	△ 196	2,368
税引前利益	△ 406	1,101
減価償却費	565	539
減損損失	933	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△ 171	△ 1,380
仕入債務の増減額 (△は減少)	△ 78	1,085
契約負債の増減額 (△は減少)	△ 356	887
法人税等の支払額	△ 412	△ 267
投資キャッシュフロー	△ 666	△ 739
有形固定資産の取得による支出	△ 269	△ 348
無形固定資産の取得による支出	△ 330	△ 391
財務キャッシュフロー	451	△ 874
短期借入金の純増減額(△は減少)	852	△ 450
配当金の支払額	△ 333	△ 333
現金及び現金同等物 増減額	△ 228	819
現金及び現金同等物 期末残高	3,917	4,736
フリー・キャッシュフロー	△ 862	1,628

2025年2月期
連結業績・配当予想



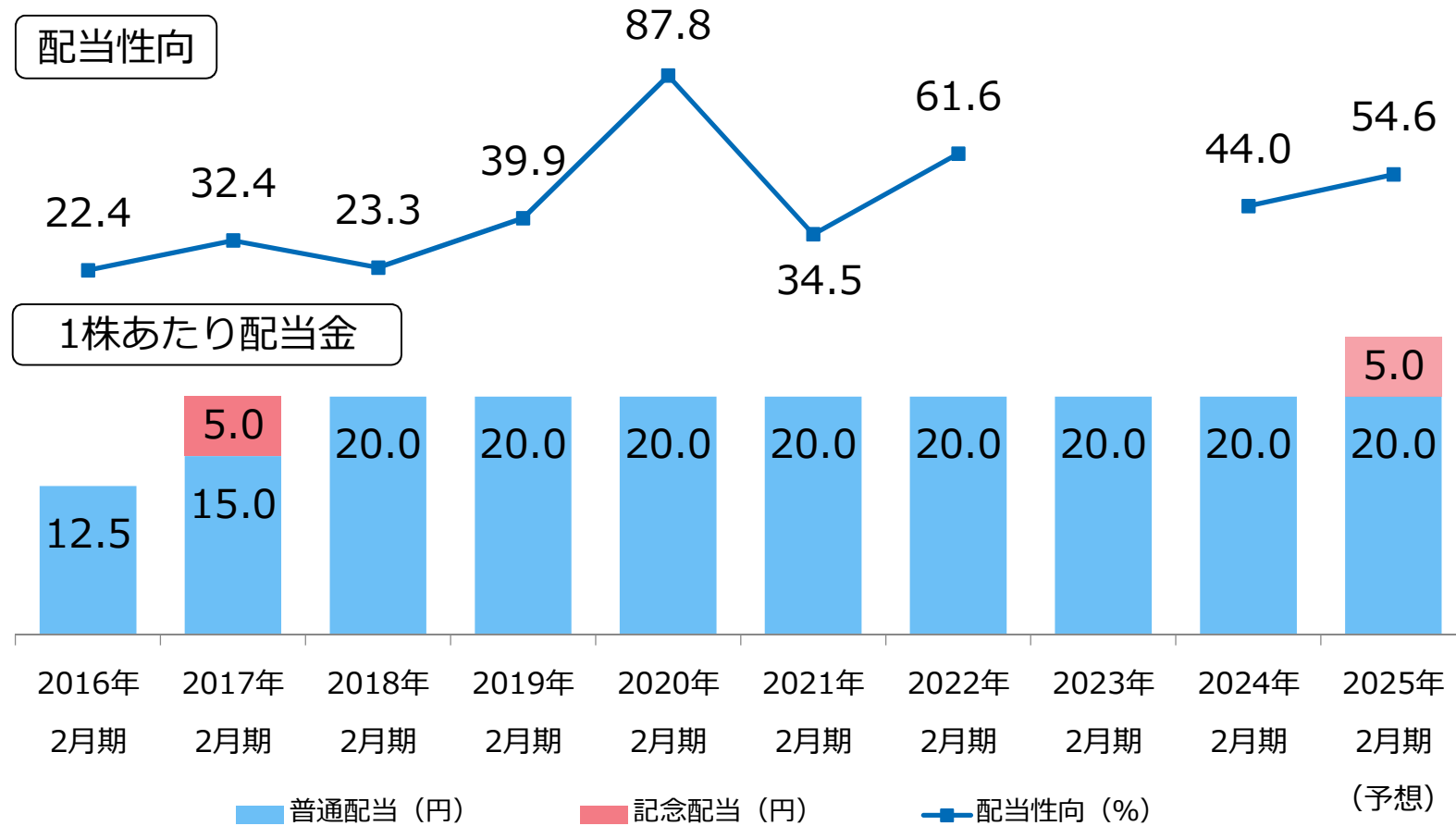
連結業績予想サマリー

- 国内は機械を中心に増収の予定
- 米国子会社の不採算案件も解消したことから増収増益を予想
- 営業利益は、販管費が海外展示会への出展、新システム更新に伴う費用・賃上げ等により増加するため減益を想定

(単位：百万円)	2024/2月期 実績	2025/2月期 予想	前年比増減	
				%
売上高	22,903	23,500	596	2.6%
売上総利益	7,043	7,650	606	8.6%
営業利益	1,270	1,100	△170	△13.4%
経常利益	1,285	1,100	△185	△14.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	764	770	5	0.7%
一株純利益 (円)	45.46	45.76	0.30	0.7%
為替(円/ドル)	143.22	140.00	—	—

配当予想サマリー

- 本年度は、長期的に安定した配当を維持していくことを基本方針とする中、当社創立60周年記念配当5円を加えた1株あたり25円の配当を予定



(注) 2023年2月期の連結配当性向については、親会社株主に帰属する当期純損失を計上しているため記載しておりません。
 2016年3月1日付けで株式分割1対2を実施しており、2016年2月期以前の配当金は分割調整後の金額です。
 記念配当については、2017年2月期は上場20周年記念配当を示します。

トピックス



Copyright(C) Freund Corp. All rights reserved.



連結子会社の商号変更に関するお知らせ

- 当社は、本年4月で創立60周年を迎えるにあたり、グローバルでの「フロイント（FREUND）」ブランドの統一を図るために、海外子会社2社の商号を変更するものであります。
- 今後より一層グループ間の連携を強め、シナジーを創出し、グローバル市場におけるプレゼンス向上を目指して参ります。

現商号	新商号	商号変更予定日
FREUND-VECTOR CORPORATION	Freund Inc.	2024年6月3日
Cos.Mec S.r.l.	Freund S.r.l.	2024年3月29日

(参考資料)

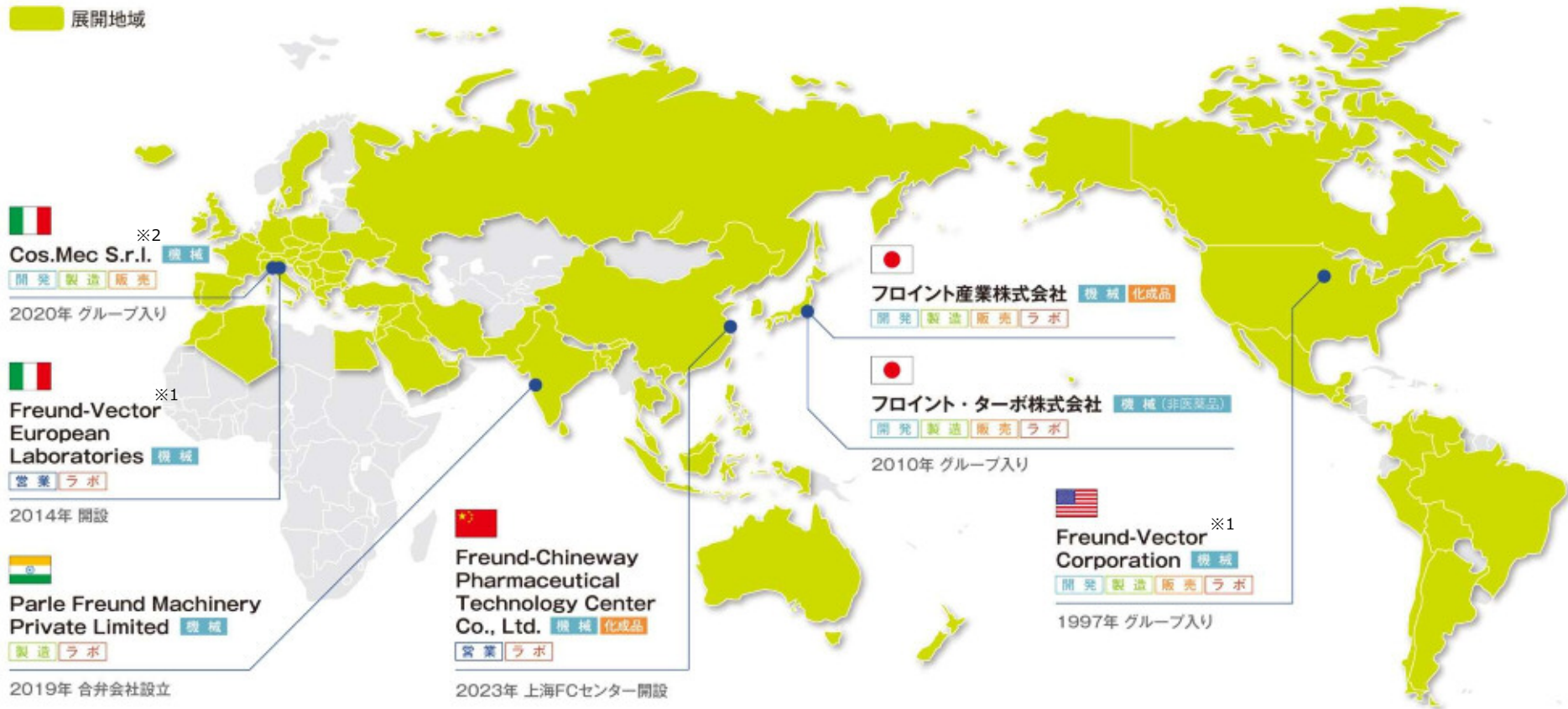
- ・ プロフィール
- ・ セグメント情報

プロフィール

●社名	:	フロイント産業株式会社
●設立	:	1964年4月
●代表者	:	代表取締役社長 伏島 巖
●所在地	:	東京都新宿区西新宿六丁目25番13号
●資本金	:	10億3,560万円 (2024年2月末現在)
●売上高	:	229億円 (2024年2月期：連結)
●従業員	:	468名 (2024年2月末現在：連結)
●事業内容	:	機械事業 …… 造粒・コーティング装置等の製造販売 化成品事業 …… 医薬品添加剤、食品品質保持剤等の製造販売
●グループ会社	:	Freund-Vector Corporation ※1 フロイント・ターボ株式会社 Cos.Mec s.r.l. ※2 Parle Freund Machinery Private Limited Freund-Chineway Pharmaceutical Technology Center Co.,Ltd.

※1 2024年6月3日付で、Freund Inc.に商号変更します。
※2 2024年3月29日付で、Freund S.r.l.に商号変更しました。

独創的技術でのグローバル化を積極的に推進



※1 2024年6月3日付で、Freund Inc.に商号変更します。
※2 2024年3月29日付で、Freund S.r.l.に商号変更しました。

独創的技術でのグローバル化を積極的に推進



※1 2024年6月3日付で、Freund Inc.に商号変更します。

※2 2024年3月29日付で、Freund S.r.l.に商号変更しました。

ビジネスモデルの特徴は「Pen」と「Ink」

1. 機械部門



Pen

- 医薬品、食品、ファインケミカルなどのさまざまな分野向けに造粒、コーティング装置などを製造・販売
- コーティング装置の国内販売シェアはトップ
アジア市場に加え、米国子会社の欧・米展開も加速
世界で製剤技術と機械装置を唯一共有する
- 造粒・コーティング技術に粉碎・分級技術を融合させることで産業向け装置の拡販も注力

2. 化成品部門



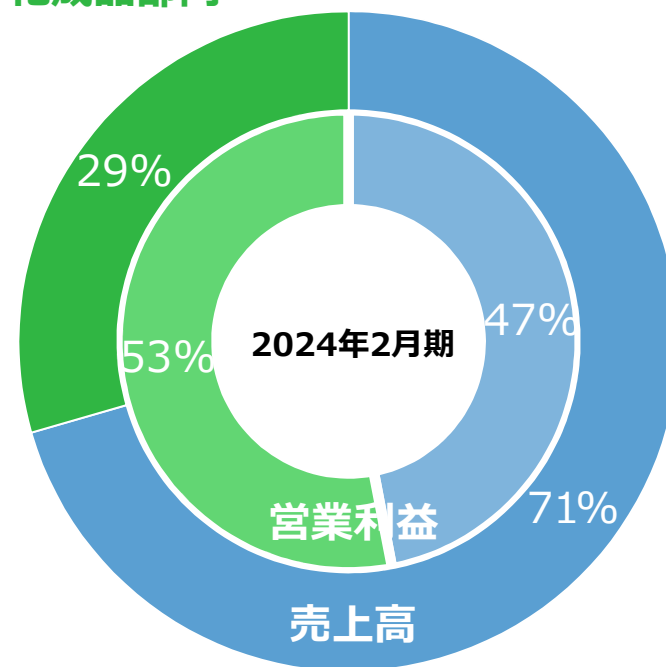
Ink

- 医薬品添加剤、食品品質保持剤、栄養補助食品などを製造・販売
- 医薬品添加剤は、GMP※1対応設備で生産
- 食品品質保持剤は、さまざまな食品の品質保持に利用され、安全な食生活に役立つ
- 造粒・コーティング技術を用い、ユーザーとの共同開発で栄養補助食品やシームレスミニカプセルを商品化

※1 GMP : Good Manufacturing Practice

セグメント別 売上高及び利益構成

化成品部門



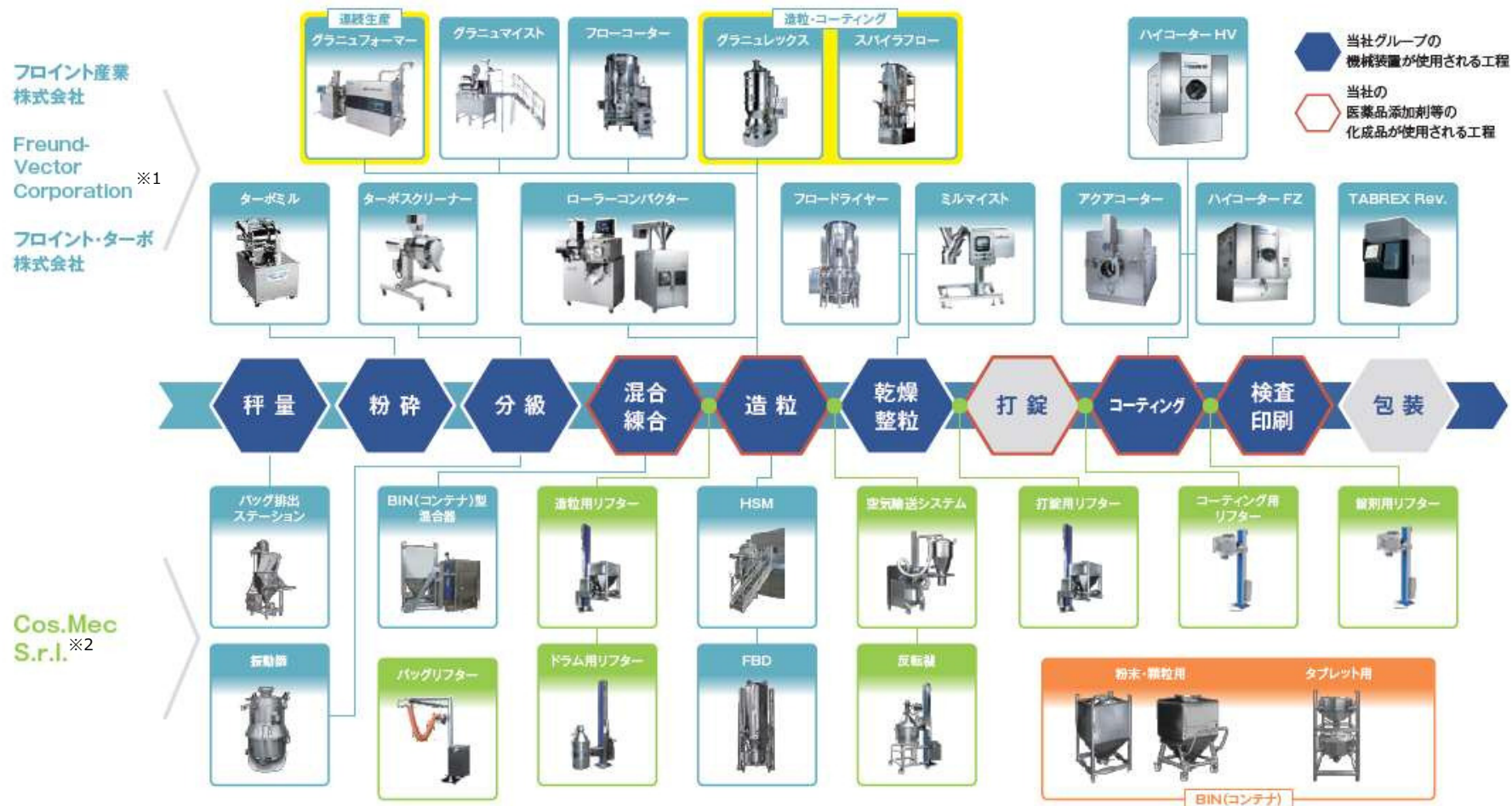
機械部門

連結売上高 **229.0**億円
連結営業利益 **12.7**億円

グループのビジネスフィールド

- 医薬品の製造工程に基づくフロイントグループの事業領域

フロイントグループのビジネスフィールド



※1 2024年6月3日付で、Freund Inc.に商号変更します。

※2 2024年3月29日付で、Freund S.r.l.に商号変更しました。

フロントグループ ディスクロージャーポリシー

1. 情報開示の基本方針

当社は、広く社会に信頼される企業として、経営の透明性向上を重要な責務のひとつと考えています。その考えに基づき、すべてのステークホルダーの皆さまに、会社情報の公平かつ適時適正な開示を継続的にを行います。

2. 情報開示の基準

当社は、会社法、金融商品取引法などの関係法令および当社が上場する証券取引所が定める適時開示に関する諸規則にしたがって、情報開示を行います。

当社は、関係法令および適時開示に関する諸規則に該当しない情報であっても、株主・投資家の皆さまの投資判断にとって必要であると考えられる情報については、積極的に開示いたします。

3. 情報開示の方法

当社は、東京証券取引所の提供する適時開示情報伝達システム（Timely Disclosure network、以下「TDnet」という）を通じて情報を開示いたします。TDnetにより開示した情報は、情報開示の適時性・公平性に配慮し、速やかに当社のインターネットホームページに掲載いたします。

そのほかの情報についても、適時開示の趣旨に則り、プレスリリース、当社のインターネットホームページへの掲載などにより公平かつ迅速に開示いたします。より多くのステークホルダーの皆さまに分かりやすい開示を行うため、開示情報は日本語とあわせ、その英訳の開示に努めます。

4. インサイダー取引の未然防止

当社は、内部情報の適切な管理および株式などの売買などについて遵守すべき基本事項を社内規則に定め、インサイダー取引規制の周知徹底と株式などの売買管理体制の適切な運用により、インサイダー取引を未然に防止します。

5. 沈黙期間

当社は、決算情報の漏洩を防止し、法令遵守および公平性を確保するため、各四半期決算期日の翌日から当該決算発表日までを「沈黙期間」と定めます。当該期間中は、決算に関連するコメントや質問・照会に対する回答は差し控えさせていただきます。ただし、業績が予想と大きく乖離する可能性がある場合には、適時開示に関する諸規則に従い適時適正に開示いたします。

6. 将来予測について

当社が開示する情報の中には、業績予想以外にも戦略、事業計画などの将来予測に関する情報が含まれておりますが、これらの情報は作成段階において入手可能な情報をもとに判断したものであり、その後の経済情勢や市場環境の変化などによって、将来予測は大きく異なる可能性があります。

(2017年3月27日制定)

I R活動の方針

株主・投資家との建設的な対話に関する方針

当社は、会社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上をめざし、株主・投資家の皆様との建設的な対話を積極的に進めます。当社の経営方針や経営状況、企業文化をわかりやすく説明し、株主・投資家の皆様のご理解を得て、「FREUNDファン」として継続的にご支援いただけるように努めます。

1. 推進体制株主・投資家の皆様との対話

執行役員管理本部長が統括し、IR担当部署の経営企画部が担います。

株主の皆様との対話を促進するため、社内の関連部門は、開示資料の作成・審査や必要な情報の共有など、積極的に連携を図り、公正且つ迅速に情報開示を行います。

2. ステークホルダーとの対話

当社は期末及び第2四半期の決算説明会（第1・3四半期はスモールミーティング）を実施し、その情報は当社ウェブサイト公開します。また、中長期経営計画を策定した際には、経営戦略や経営計画についてわかりやすく説明いたします。さらに、機関投資家への訪問も積極的に実施し、経営方針や業績の説明を行います。また、証券会社主催の投資家フォーラムや個人投資家説明会等にも参加します。

株主通信やFREUND Report（統合報告書）の発行、ウェブサイト専用ページ（<https://www.freund.co.jp/ir/>）の開設などにより、事業や財務情報とともに財務諸表に載らない資産（見えない資産）を紹介することで当社グループの企業価値を正しくご理解いただけるように、情報開示の充実に努めます。

3. 株主・投資家からの意見を社内へフィードバックする仕組み

株主・投資家の皆様との対話において把握された意見は、社長、取締役や関係各部に適宜報告し、情報を共有します。

4. インサイダー情報の管理

各四半期の決算期末日より決算発表日までの期間はサイレント（沈黙）期間とし、投資家の皆様との対話を制限しています。インサイダー情報については、社内の内部情報管理・内部者取引規制に関する規程に従い、情報管理の徹底を図っています。

〈お問い合わせ先〉
フロイント産業株式会社
経営企画部

E-Mail : ir@freund.co.jp

当社IRサイトもご覧ください。 <https://www.freund.co.jp>

本資料には当社の計画、見通し、経営戦略および経営方針に基づいた「将来予測に関する記載」が含まれております。この「将来予測に関する記載」には発表日時点までに入手可能な情報に基づいた経営判断や前提が述べられております。そのため諸与件の変化により、実際の業績は「将来予測に関する記載」とは異なる結果となる可能性があります。従って本資料における業績予想などの「将来予測に関する記載」が将来に亘って正確であることを保証するものではないことを、ご了解いただきますようお願い致します。なお、掲載内容について当社はあらゆる面から細心の注意を払っておりますが、それらには誤りやタイプミス等が含まれる可能性があります。